

轍わだち

2011. 7. 11 NO22

応援団が拡がれ、感謝の気持ちがいっぱい

下記のメッセージを下された方は、卒業生のK. Mさんです。Kさんは高校・短大を卒業して30数年もたってもいつも母校を、後輩を気にかけて下さっている卒業生の一人です。K. Mさんは在校生の保護者から聞いたそうです。「4. 30応援イベント」の事を。その後たくさんの義援金を寄せて下さいました。またタオルを何枚も、何回も購入して下さいたりしていただいています。

轍有り難うございました。子ども達の熱い思いが早く形になって第一陣が気仙沼の方々に届いてよかったですね。〈略〉 購入してもらったタオルを友だちに配って平女の子ども達の真っ直ぐな活動を話します。震災に遭った方々日々闘っておられますから、震災に遭ってない私たちが頑張りたいと思います！（HOPE TOHOKU）のタオルで、洗った顔や、手を拭くと平女のみなさんの熱い気持ちがいっぱい伝わってきて感謝の涙が出ます。まだまだ支援の気持ちを忘れないで！ 私たちが頑張らましょね。

第2弾 タオルデザイン決定

実行委員会全員一致で決定したデザインは高校2年生の篠原さんの応募作品です。完成は7月下旬です。すでにオープンスクール参加者からの注文がありました。みなさんも是非買って下さいね。



フェイスタオル1枚 500 円で 義援金 222 円 ハンドタオル 1枚 500 円で 義援金 303 円

タオル販売で集まった義援金で、冬の支援物資を送ります。

支援の輪を拡げる活動を展開します

今日は11日です。震災から4ヶ月です。被災地は今どうなっているのでしょうか。先日、文房具を送った石巻中学校より御礼状といっしょに新聞の切り抜きが同封されていました。被災した学校3校が合同で野球の試合をしたという内容です。たくさん失い、いっぱい悲しみを抱えながらも、日常を取りもどうそうとしている姿がそこにもありました。私たちは、決して被災地の人々の悲しみや苦しみを忘れてはいけないと思います。忘れないために私たちは、あらゆる機会を生かして支援活動を続けていきます。あなたができることを無理なく長く続けて下さい！あなたも実行委員会に入りましょう！

いつでも大歓迎です

4ヶ月目の今は…

被害の状況については…

死亡確認は 1万5544人

行方不明は 5383人

避難者は 9万9236人

今なお公民館・学校・体育館での生活が続いている人 2万4182人

エアコンがない体育館は、蒸し風呂状態

窓を開ければ、魚の腐った臭いやヘドロの臭い

蠅・蚊などの虫

「寝られた状態じゃない!」「一日も早く仮設住宅に移りたい!」しかし…

仮設住宅の建設も遅れている上に、遠方への移動という悪条件が重なり難航している面も。

復旧の進捗状態については…

仮設希望件数 5万583戸

仮設完成件数 3万7000戸

瓦礫撤去は 岩手・宮城・福島3県では34%



仮設住宅への入居が進まず、被災者であふれる避難所（7日、宮城県石巻市で）＝関口寛人撮影

義援金は、日本赤十字社などに寄せられた金額のうち、被災者の手元に届いたのは 2割

断水は、 4万8000戸（うち4万7000戸は家屋が流失している地域）

JR在来線運休は 7路線 344km

布団 第2弾、被災地へ 15組送りました（7月4日搬送）